



広報みすず



第481号

美鈴が丘まちづくり協議会

土砂災害は、過去のデータや被災地の情報から学び、知って備える！ 知識+判断+近隣の声掛け=行動が減災に繋がる！！

美鈴が丘高校の前の

道路を南下すると、前方上に崩れた山肌の痕跡が自然に目に入って来る。平成30年の西日本豪雨で、山からの土砂が砂防堰堤を越え中学校校庭に溢れ出た。

南街区山側でも溢れた大量の土砂が越水し道路を塞いだ。あの光景は、いつまでも記憶に留め忘れないようにしたい。

近年、地球温暖化の影響で大雨や台風シーズンになると、線状降水帯の発生・台風の大規模化がよく指摘されるようになった。今年5月20日より「災害対策基本法」が改正され警戒レベル4の避難勧告は廃止され、「警戒レベル4は全員避難の避難指示」に一本化し緊急性を解り易く表示。美鈴が丘には全体の約1/4の土砂災害

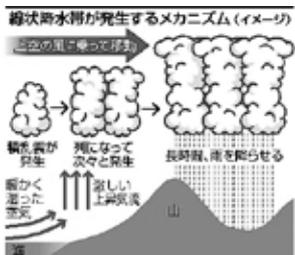
警戒区域(レッド・イエローゾーン)があり油断は禁物。温暖化の進行で一時間に50ミリ超の非常に激しい雨は、ここ10年間の年平均で31回と30年前頃の1.4倍に増加。過去の集中豪雨の7割は線状降水帯によるものと言われている。線状降水帯の予測は難しいが研究は進んでいる。6/17より「顕著な大雨に関する情報(線状降水帯発生情報)」の運用が始まる。3時間以上にあたってほぼ同じ場所に停滞し積乱雲の層が3層になり、3時間の降水量100ミリ超の範囲が500km超などの基準で自動検出し発表されるが、実況データを基にしているの、既に豪雨の真っ只中であって避難が難しい状況かも知れない。危険性の高い線状降水帯は近年では年

平均44回発生している。

また、温暖化により台風の移動速度が36%減速しており、風雨が長く続くことになる。気象庁は、住宅が倒壊する「風速50m超の猛烈な風」のランク新設を検討中で、年々巨大化する台風への注意喚起を強めている。

昨年11/1フィリピオンに上陸した台風19号は88hPa最大瞬間風速100mと過去最強を記録。今年4/14に発生した台風2号は90hPa風速55m最大瞬間風速80mで10日間滞留した。また、土砂災害警戒情報が変わり、広島市のエリアを8つの区に細分化して発令、より詳しく精度向上を図る。全員避難の警戒レベル4は、避難にかかる時間を確保する為に2時間後の雨量を予測して早めに発令される。発表

される各種の情報を確認し避難スイッチを入れるタイミングを決めておく事が大切。3年前の西日本豪雨の際の広島市中区の累加雨量は468ミリ、昨年7月の井口台の砂防堰堤危機一髪と騒がれた時が28ミリ。降り始めからの総雨量が300ミリ超で何らかの被害が発生している。「あなたの避難が周りの人達の命を救うことに繋がる」。災害で実際に避難した人の多くが「周りの人が避難したから」と言う理由で行動を起こしている。緊急時に迅速に避難するには、事前の準備が大切。①リュックサック中身の点検②服装・靴③避難場所と経路など常日頃から準備を心掛けておく。自然が変わって来ている。我々も意識を変えて備えを固め、避難行動の習慣づけが必要と思う。「行政に命を預けない。自分の命は自分で守る事を基本に考える」。



線状降水帯発生メカニズム



井口台の砂防堰堤が危機一髪



南街区山沿い道路に土砂流入



中学校グラウンドに土砂流入

わが街防災

連載5

美鈴が丘にある堰堤

堰堤(えんてい)とは、土石流など上流から流れ出る土砂を受け止め、溜まった土砂を少しずつ流すことにより下流に流れ出る土砂の量を調節する施設のことです。土砂が堰堤に溜まることで谷の勾配が緩やかになり、山肌が削られていくのを防ぐとともに、土石流の破壊力を弱めます。

自主防災会とは

自主防災組織は、地域の安全を確保するため、「隣保協同の精神」に基づいて、住民の一人ひとりが「自分たちのまちは自分たちで守る」という固い信念と連帯意識のもとに、既設の町内会・自治会またはこれらの連合会を主体として自発的に組織されるものです。

地震等の大規模災害

地震等の大規模災害が発生した場合、行政をはじめとする防災関係機関は災害対応に全力を尽くしますが、同時期に多発する災害に十分な対応できない可能性があります。このような状況では、地域に住む方々が自ら行う「初期消火、負傷者の

救出・救護活動」などの自主的な救出活動が、被害の軽減のために必要となります。

美鈴が丘の各町の自主防災会の編成は、会長、副会長をリーダーとして、その下に、情報連絡班、消火班、救出救護班、避難誘導班、給食給水班などの班が設置され、各班には責任者として班長が置かれています。また、会長、副会長、各班の班長で本部を構成し、自主防災組織の総括や各班の運営指導、訓練計画の策定等を行っています。

美鈴が丘では、2018年4月、佐伯区が「美鈴が丘学区ハザードマップ」(約4400部)を作成、早めの避難を心掛けてもらおうと、土砂災害の恐れのある区域をはじめ避難場所や経路などが掲載されています。A2サイズ、オー

ルカラー。土砂災害や地震が起きた際の指定緊急避難場所、集会所など地域の集会所までの避難経路を載せて

被災想定区域や避難場所・避難経路などの防災関係施設の位置などを表示した地図」とさ

れており防災マップなどとも呼ばれています。ハザードマップを作成するためには、その地域の土地の成り立ちや災害の素因となる地形・地盤の特徴、過去の災害履歴、避難場所・避難経路などの国土地理院による防災地理情報を基に作成されています。

います。土砂災害警戒区域(イエローゾーン)を黄色で、土砂災害特別警戒区域(レッドゾーン)を赤色で区分け。気象情報の入手方法など記載されています。マップを通して、自分がどこに住んでいるか、土砂災害警戒区域にかかっているかなど知っておいてほしい。家族や地域での避難方法や経路の確認をしておくことが必要です。

るものではありません。このため、災害時に適切に行動できるよう、実践的な訓練を行うことが重要です。美鈴が丘の場合、美鈴が丘で想定される「土砂災害」や「地震」などの災害を想定し、緊急避難や生活避難などの訓練が必要です。訓練の実施にあたっては、自主防災組織だけではなく、各年齢層の住民や事業所、消防署など防災関係機関などの連携を十分に図りながら行うことが重要です。防災訓練には、大きく分けて「避難時の訓練(避難訓練)」、「避難所での訓練(情報収集・伝達訓練、給食・給水訓練)」、「応急訓練(消

火訓練、水防訓練、救出・救護訓練)」があります。これらいくつかの訓練を組み合わせて、より実践的な訓練とすることが大切です。

(まちづくり協議会
前防災部長 古田陽久)

町内会の情報を常時募集中です。何か情報があれば町内会長・広報部員・広報部長までお寄せください。

また集会所には広報部目安箱が設置されていますのでこちらにも情報をお願いいたします。

こんにちは赤ちゃん

美鈴に生まれてきてくれて

ありがとう!!

- 笠間 のなちゃん 10 / 22 東2
- 竹村 依智くん 3 / 24 東4
- 妹尾 咲那ちゃん 3 / 27 緑1
- 上山 蓮くん 4 / 30 南2
- 多谷 友花ちゃん 5 / 21 南2
- 天野 陽瑛くん 5 / 25 西2

あなたはまちの宝物。
地域のみんで大切にします。

ご両親様のひと言

- ・お姉ちゃん、お兄ちゃんと一緒に元気に大きくなってね
- ・いつもいい笑顔でお早うしてくれて有り難う
- ・とっとかっかかるところに生まれてきてくれて有り難う
- ・元気いっぱい笑顔いっぱいすくすく育ってね

次世代をつなぐ元氣 美鈴つ子

今回はお姉ちゃんと双子の兄弟を紹介します。

お姉ちゃんのほのかは美鈴が丘小3年生。双子の弟とっかとっかずまは新1年生になりました。いつも賑やかな3人兄弟です。小学校で、好きなこと得意なことをたくさん見つけて、いろいろなことを吸収して欲しいと思います。

母から



3人で縄跳び



桜の下で

◆町内避難訓練

緑二丁目町内会

第2回目の避難訓練を耐震工事が完了した「指定緊急避難場所」の美高講堂にご近所同士声掛け合って約100人が参集し開催。
今回の目的は

- ①リュックサックを背負って歩く距離と時間の確認
- ②避難所の設備や必要と思う物資の確認
- ③リュックの重さと自身の点検等。

区役所防災担当の有福主査から「平成30年7月広島豪雨災害」の顛末をビデオで学習。その後避難場所や危険カ所・公衆電話などの緊急時に役立つ情報を裏表に掲載した「美鈴が丘の防災マップ」の活用について解説して熱心に耳を傾けた。また、会場内の「非常時持出しグッズ」の参考展示と自分の中身を比較して、これから

の見直し作業に活かす。今住んでいる地域の危険カ所を再確認し過去の災害データを記録、避難行動のスイッチを入れるタイミングを行政任せにせず、自分で決めておくことが大切。
(中原)



美鈴が丘高校講堂での避難訓練の様子

◆花壇をつくり・花を育て満10年

平成24年7月西第五公園に赤いブロックで花壇6個をつくり、花を植え今年で満10年を迎えます。毎月一回の公園清掃は町内住民が組単位で行い、花壇の管理は「花の井戸端会議」役員が当番を決め活動しております。夏はサルビア・マリーゴールド、冬はパインジーを主に育てております。きれいに花が育つ喜びを楽しみ活動日誌を綴っております。ウォーク途中に公園ベンチ木陰で一休み、犬ちゃんの散歩、小さな子ども達が仲良く遊び、



公園利用者からは手入れが行き届いて気持ちが良いですねと声を掛けられます。

西五丁目町内会の「あなたにやさしいまちづくり」で花の彩り、笑い声が絶えない憩いの公園になるよう日々取り組んでおります。

◆ウォーキングクラブ 亀居城址探訪

普段は美鈴が丘団地や団地周辺で活動しているが、刺激を求めて時々遠征。今回は大竹市の亀居城跡を探索。1万5,300余歩を歩き、満開の桜と背後のコバルトブルーのきれいな海を堪能し充分にリフレッシュ出来た。37人が参加。毎月第2・4木曜日が活動日。
(中島)



見応えのある石垣。福島正則築城。



植えてから30数年サボテンの花が咲きました

まちづくり協議会6月定例役員会報告

- ①企画部 夏祭り…コロナウイルス対応から今年度は中止することに決定。花火のみ打ち上げ
- ②社会福祉協議会 敬老会…今年度も中止せざるを得ない。昨年度と同様に記念品は配布する予定
- ③体育協会 運動会は残念ながら中止せざるを得ない。
- ④まちづくり協議会
 - ①令和3年度緊急連絡網が完成し確認した。
 - ②近々日赤募金関連資料を配布予定。協力を願いたい。
- ⑤防災部 防災体験ツアー
(7/10:大人、8/2:子ども)は延期する。
- ⑥青少協 ラジオ体操中止

美鈴が丘

- ★シニアクラブ
ゴルフコンペ
(鈴が峰K 5/21)
1位 埴 久美子
2位 宮内 秀樹
3位 村神 哲也
- ★シニアクラブ
グラウンドゴルフ部
月例会 5/4
男子1位 土井(東2)
2位 相葉(東4)
3位 笠井(南1)
女子1位 笠井(南2)
2位 霜野(南2)
3位 岡本(南3)
- ★シニアクラブ
カーリング部
1位 倉田・笠井(5/10)
2位 桑原・梶川・今中
3位 森重/板東
- ★シニアクラブ
クロリティ月例会 5/1
1位 旭野
2位 木谷
3位 笠井
- ★体協グラウンドゴルフ部
月例会 5/9
1位 山根 (東4)
2位 大深(♀)(緑1)
3位 大深 (緑1)
- ★スポーツ吹き矢
6月月例会
1位 田坂(東2)
2位 桑原(東2)
3位 國安(西2)

小学校たより

卒業生による標語を校庭に提示しました

車間距離
それがあなたを守る距離 (1組)

美鈴が丘
笑顔あふれる
幸せの町 (2組)

未来への可能性は
無限大 (3組)



校庭に張り出し

田植えをしました。

6月2日(水)、5年生が美鈴が丘小学校の校庭にある田んぼで田植え体験をしました。今年も、講師に堀江壮先生をお招きして、植え方を教えていただきました。児童は、おそろおそろ田んぼに入りながら、1本ずつ丁寧に苗を植えていきました。今後1年をかけて育てていきます。



恐る恐る田圃へ

りんりん下校を行いました。

6月4日(金)、美鈴が丘地区防犯組合会長の木本朋子様をはじめとして、普段から児童の見守りをしてくださっている皆様を体育館にお迎えして、「感謝を伝える会」を行いました。見守りの方が



見守り隊への感謝を伝える

自己紹介してください。たり、児童代表が感謝の言葉を伝えたりし、その様子はリモートで教室にいる児童に届けられることが出来ました。会の後は一緒に一斉下校を行いました。地域の皆様におかれましては、今後とも児童の登下校等の見守りをよろしくお願いいたします。(小学校教頭…上田 修)

お知らせ・催し

- 7月10日(土) 延期
。防災体験ツアー (大人)
- 7月18日(日)
。献血(公民館)
- 8月1日(日) 延期
。防災体験ツアー (子ども)
- 9月12日(日)
。グラウンドゴルフ大会 (体協)
- 9月19日(日)
。敬老会中止



お詫びと訂正

5月号で記述に誤りがありました。左記の通り訂正致します。
町内会連絡協議会欄
(誤) 松本 貢(西2)
(正) 剱本 渉(西4)
慎んでお詫び申し上げます。

おくやみ

3/19波見サチコ様(83)西1
ご冥福をお祈りします。

◆新任役員紹介
学校体育施設開放事業
運営委員会委員長
谷本 昌洋



広報みすず 第481号 編集
発行 美鈴が丘まちづくり協議会
発行日 令和3(2021)年7月9日